

令和6年1月29日の「統合準備に係る説明会」及び
5月11日の「保護者説明会」開催時における意見質問とその回答・対応方針

分類	意見・質問	回答・対応方針
統合先 ・校名	<ul style="list-style-type: none"> ・統合先は、谷一小でなければならないのか。(1/29保護者) 	<p>本市の「適正規模／適正配置基本方針」による統合先として、同一中学校区の小学校と統合をするものとしています。その場合、谷村第二小学校との統合という選択肢もありますが、児童数が既に100人を切っており、今後減少が進む中で統合を検討する可能性があるため、谷村第一小学校を統合先としています。</p> <p>仮称とした「都留市立都留文科大学附属谷村第一小学校」については、今後、関係者との協議において検討してまいります。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・統合後の学校名が長いと感じた。「都留市立都留文科大学附属谷村第一小学校」と何かの資料に書かなければならないとすると、とても大変だと思う。「都留文科大学谷村小学校」や「都留第一小学校」でもよいのではないかと。(1/29地域・教職員) 	
学区	<ul style="list-style-type: none"> ・学校統合が決まっていると、附属小学区内の人でも、最初から谷一小へ通わせる方が増えるかと思いますが、統合までの2年間に新入児童は入学するのでしょうか。(1/29教職員・地域、5/11保護者) 	<p>都留文科大学附属小学校の学区が定められているため、現段階では令和8年度入学生までは学区内の子供たちは基本的に学区内の学校へ入学します。</p> <p>また、英語特区という特色もあり、市内全域が英語特区への入学が許可されているため、何人入学するかは今のところ明確にお答えするのが困難なのが現状です。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・統合がわかっていたなら、最初から谷一小へ入学させればよかったと思う。(入学時に選択できたならよかった)(1/29保護者) 	<p>学校統合において、急激な環境変化で子供たちに大きな不安を抱かせるのではなく、今後3年間の準備において、スムーズな学校生活に繋がれるように配慮していきます。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・個性ある児童への対応、他所(地域外)から登校している児童への対応はどのようにしていくのか。その子供たちは、統合後にどのように登校するのか。(1/29地域) 	<p>今後、学区の再編成を行います。区域外就学となる児童については、個々に対応していくこととなります。</p>
英語特区	<ul style="list-style-type: none"> ・都留市が、教育課程特例校(英語特区)を推進していくことを期待したい。(1/29地域) 	<p>都留文科大学附属小学校における英語教育を統合先の谷村第一小学校においても継続していくことを念頭に、大規模校でも同様の取り組みができるよう英語のカリキュラム内容も含めて今後検討してまいります。</p> <p>英検ジュニアの実施につきましては、都留文科大学の附属小学校としての取り組みの1つとなるため、継続していけるよう検討するとともに、漢検、算検、英検ジュニアの受験対策についても谷村第一小学校において引き続き対応していくことができるか検討していきたいと考えております。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・英語特区としての英語教育については、継続されるのでしょうか。(1/29保護者) 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・統合後、附属小で実施されていた漢検、算検、英検ジュニアや受験対策等は継続実施されますか。(1/29保護者) 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・附属小英語特区の成果を示してほしい。英語が好きな子が他校と比べてどうか。(附属小卒業生が)中学校での英語の学力はどうか。英語特区として児童数増加を目指していたと思うが、評価としてはどうだったのか。(1/29地域) 	
スクールバス	<ul style="list-style-type: none"> ・英語特区を継続していくことが本当にいいのか。(理数特区やスポーツ特区のような特例校は無いのだろうか)(1/29地域) 	<p>グローバル化社会の進展の中で、国際共通語である英語力の向上は非常に重要なことと捉え、教育課程特例校として英語特区を設定しております。1年生から英語を使った学習活動を行うことで、日常的に英語に触れる機会が増え、外国文化への興味や関心をもちやすくなり、英語力やコミュニケーション能力の向上につながるものと期待しております。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・登下校のスクールバス利用について、具体的に説明してほしい。(1/29保護者) 	<p>ルート及び乗降場所(停留所等)の設定、利用者数の確認、乗降時刻の設定、学校時間割調整、下校利用時の対応等、他校での利用状況も確認する中で、児童の安全確保を最優先課題として、バス運行事業者と調整を図ってまいります。また、保護者説明会等で進捗状況等の共有を図るなど、十分な協議をしてまいります。</p>
両校の交流	<ul style="list-style-type: none"> ・統合する附属小の子供たちがスムーズに溶け込めるような取組をお願いしたい。(いじめが心配)(1/29地域) 	<p>都留文科大学附属小学校と谷村第一小学校の児童が両校へ直接訪問して交流する機会を統合前年度を中心に複数回実施することを考えております。</p> <p>また、交流の内容については、両校の児童が授業やイベント、給食など様々な場面で一緒に活動ができる機会がもてるよう保護者の皆様の意見等も踏まえて、対応してまいります。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・統合する前に、谷一小の同学年と一緒に授業(学習)を受けることは計画されますか。交流会はもちろんですが、多くの児童がいる授業を体験できる機会を設けていただきたい。一校時分だけではなく、給食等を含めて一日を同学年と過ごせることを経験させていただきたい。(5/11保護者) 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・統合時期の計画が決まっているのであれば、校外学習(遠足や見学等)や宿泊学習(林間学校)、運動会などでも交流活動が実施できると考える。子供たちも、支える保護者達も、少しでも不安が解消できる取組を考えて欲しい。(1/29教職員) 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・統合後初年度の6年生の行事(修学旅行等)がたくさんある中で、上手く付き合えるか心配。(1/29保護者) 	<p>旧旭小学校の児童にも、同様の不安がありました。子供たちにとって大きな経験・活動において、互いを認め、尊重し合いながら、全体としての目標へ向かって協働して取り組んでいく過程において、連帯感ともいえるべき協働性も成長していく様子が見られました。互いに活動の成果を共有することで、大きな達成感も得られ、「同じ仲間」としての繋がりを深める機会となりました。子供たちの状況を丁寧に確認しながら、活動を計画してまいります。</p>

分類	意見・質問	回答・対応方針	
子供の ケア	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの数が減少している（統合も）仕方ないかと思うが、附属小に通っている子供たちのことを一番に考えて、ケアして欲しい。（1/29地域） 	<p>両校の児童や保護者並びに地域への説明や連携するとともに、統合前後の子供の状況を学校や学童とともに注意深く見守り、保護者の皆様とともに安心して通うことができるよう、子供たちの状況や思いを丁寧に受け取りながら、一丸となって取り組んでまいります。</p> <p>また子供たちに対しても、児童向けの説明会を行う中で児童の考えや思いを確認していきたいと考えております。</p> <p>なお、現在谷村第一小学校では事故やいじめのない学校づくりを目指すインターナショナルセーフスクールの国際認証の取得を目指し、児童が中心となって活動しております。</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ・学力も大切だが、登校する子供たち、見送る保護者に対してもきめ細かい安心できるご指導をお願いしたい。（1/29地域） 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・小人数ならではのきめ細かな教育は、大人数の学校へ行くことと難しいこととは思いますが、統合後の子供たちの不安を思うと、できるだけ注意深く見守っていただきたいと思えます。（5/11保護者） 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・小学1年生が入学したてで、統合して（学校生活を）始めるのは難しいのではないかと心配である。（1/29地域） 		<p>現在、各小学校においては、「小1プロブレム」と言われる状況に対し、新入児童がスムーズに学校生活が送れるよう、特別に「スタートカリキュラム」を設定しております。今後も幼保との連携のもと、引継ぎを丁寧に行い、個々にきめ細かな支援ができるよう対応してまいります。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・（禾一小の現状としては）「旭小から来た子供たち」という捉えはもうない。友達と手をつなぎ、歌を歌ったりしています。みんなで認め合い、学級役員にも立候補しています。保護者との連携も、1学期以降丁寧に行っています。子供たち同士をつなげるためにみんなで協働していくことが大切である。（1/29教職員） 		<p>旧旭小学校・禾生第一小学校統合における取組をしっかりと振り返りながら、都留文科大学附属小学校・谷村第一小学校の統合に生かしていきたいと考えています。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・私たち教員は、どんな場面においても「子ども第一」で指導していきます。（1/29教職員） 	<p>学校だけに対応していただくのではなく、行政も家庭も地域も一緒になって対応していけるような取組を目指してまいります。</p>		
少人数 学級の メリット	<ul style="list-style-type: none"> ・人数が多ければ、学力が上がると思えない。少人数の方が、先生方の目も行き届きやすいのではないかと。（1/29保護者） 	<p>小規模校は、児童が少人数である分、一人一人によりきめ細かな指導が行え、個々の発達段階や成長段階に寄り添った支援により、基礎基本となる知識・能力も定着させることができます。</p> <p>しかしながら、今はそれに加え多様な人（仲間）と協働しながら課題を解決していく経験が必要です。多様な考えに触れることで、互いに理解し合い、尊重できる豊かな心を育てます。そのような学びが提供できる学習環境の整備として進めてまいります。</p> <p>また、基礎基本の定着に加え、これまでも学校教育で目指していた主体的に学ぶ力の育成や協働的に課題を解決する能力を高めるための「主体的、対話的で深い学び」の実施が求められています。その学びを展開するためには、ある程度の学習集団規模が必要だと考えており、個々の学びが定着するよう、複数の教職員による支援や少人数グループでの学習など、様々な対応を行えることが必要であると考えております。</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ・「大きな学校だから」というメリットはよくわかったが、そこがクローズアップされすぎて「小さい学校だからこそ」という部分が忘れられていたように感じた。（1/29教職員） 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数学級におけるメリット（きめ細かな教育や学力向上）、効果について示してほしい。（1/29地域） 		
教員配置	<ul style="list-style-type: none"> ・（児童数）人数が増えるといくことは、教員等の確保が必要である。（1/29教職員） 	<p>旧旭小学校、禾生第一小学校学校の統合を踏まえ、小規模校の利点でもある一人一人に寄り添ったきめ細かな支援が継承できるよう、教職員の配置についてもできる限り対応してまいります。</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの変更や変化を迎える統合開始にあたり、人的配置の手立てを2～3年前から実施してもらえるか。（1/29教職員） 		
学童保育	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、学童を利用していますが、統合後の学童はどうなるのでしょうか。スクールバスでの登下校となるようですが、学童を附属小に残して利用できるようにしてほしい。（1/29保護者、地域、教職員） 	<p>放課後児童クラブ（学童保育）については、旧旭小学校の事例もあり、保護者の皆さんの意見を聴取し、子供たちの居場所として附属小校区で継続して対応できるよう、運営母体と協議してまいります。</p> <p>なお、学童へ通う児童については、スクールバスで都留文科大学附属小学校に下車できるよう、関係機関と協議を進めてまいります。</p> <p>また、令和6年度からは放課後子ども教室（菅野川キッズクラブ）を新たに開設しましたが、統合後も放課後児童クラブ（学童保育）とも連携する方向で計画してまいります。</p>	
跡地活用	<ul style="list-style-type: none"> ・校舎を地域学習の拠点として活かして欲しい。体験学習のフィールドとして、地域人材や財産を活用して欲しい。そのためのコミュニティスクールの取組にしていきたい。（1/29教職員） 	<p>現在、旧旭小学校施設の利活用方法を地域の声を聞きながら検討しておりますが、都留文科大学附属小学校においても、学校運営協議会（コミュニティスクール）も活用し、家庭や地域の意見をうかがいながら、子供たちにとって、地域にとって有意義な活用を検討してまいります。</p> <p>附属小の備品等については、統合前年度中に所有備品の洗い出しを行い、統合先の谷村第一小学校の希望を優先として市内各校の希望に合わせて移動することになります。</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ・統合後の附属小の建物や備品等の扱いについて教えて欲しい。（1/29教職員） 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・附属小を少人数特区や不登校特区として残すことはできないだろうか。（1/29地域） 		<p>不登校の児童生徒が増え続けている現状においては、それに対応する施策も環境も充実させていく必要があります。一つの可能性として、統合後の校舎を活用した不登校児童等の受け皿を充実させるための環境を整備することも含め検討してまいります。</p>
地域 活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・学校が担う地域コミュニティのハブとしての機能をどのように継承していく計画か。（1/29教職員） 	<p>地域コミュニティの継続を基本とし、活性化を図ることのできる施策を検討してまいります。</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ・学校統廃合は、地域コミュニティの崩壊を招く可能性があります。慎重に、最小限で行っていただきたい。（1/29教職員） 		
PTA	<ul style="list-style-type: none"> ・附属小と谷一小とはPTA活動が違うと思えます。統合後の初年度は、役員割り振りが無いような配慮をお願いします。（1/29保護者） 	<p>PTA役員については、地区役員や学年部会など様々な役割があり、保護者と児童が学校に溶け込んでいく機会にもなりますので、統合前に設置される学校運営協議会（コミュニティスクール）を活用していただく中で両校のPTAが話し合いを持ち、協議していただきたいと考えております。</p>	